

岩手大学教職大学院

遠隔リアルタイム配信による双方向型授業システム "IT-EILS"

IT-EILS

(アイティールズ)

Iwate University Professional School
for Teacher Education
The Evolution of Interactive Learning System

岩手大学教職大学院
双方向授業システム

COVID-19感染状況拡大下において教職大学院の授業を双方向でおこなうため、独自にシステム構築に取り組んだ。学卒院生が中心となり、ボトムアップで策定した結果、ICT機器を用いた教育の特性と限界の理解が深まり、遠隔教育を実施するスキルも向上した。

GIGAスクール構想の実現に先立ち、学校のインターネット環境下におけるセキュリティ、クラウドやファイル共有等の課題の理解にもつながった。Society5.0における個別最適化された学びだけでなく、広域な岩手県における教師教育として発展させ、遠隔による単位取得だけでなく、授業公開、参加型研修等への応用も期待される。

資料配布型

- 資料を配布し、課題を課す授業形態

オンデマンド動画型

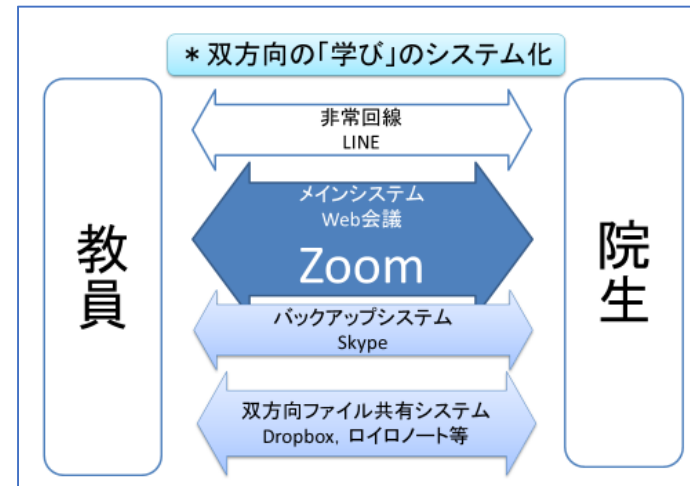
- 動画教材を任意に視聴し、課題を課す授業形態

一方向型

リアルタイム配信型

- Web会議を利用した遠隔での授業形態
- 複数のサービスによる冗長化
- マルチデバイスによる柔軟な運用を想定

双方向型



遠隔授業の経験とスキルは、学卒院生の遠隔合同授業の実践研究にも活かされ、現場にも大きな成果を還元できた。

冗長性 (redundancy) の確保

システムに障害が発生した場合に備えて、機能を維持できるように、バックアップを準備し、リスクを分散して運用すること。

* 非常時でも教育をおこなうことができる教員としての態度や姿勢をつくる実践としても本取り組みが有効に機能した。